語箋

831
合
60
13

た

国立国会図書館　　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

太礼多

国立国会図書館　タイトル『語箋』 請求記号 831-13

ガラス使用

多部
礼部

大礼

国立国会図書館　タイトル『語箋』 請求記号 831-13
ガラス使用

大正
2.15
購求

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

勸学田
要劇田
我開田
乗田
易田
剥田
畔田
荒蕪田
当田
住田
隣田
当田
畷田

国立国会図書館　タイトル『語箋』 請求記号 831-13
ガラス使用

怨 アタノ字

讒 譖がたがいにうちまでもなお悪見エタリ

嘗 嘗名 たゞ假字を用ふ 嘗だゞ假字又をこに用フ

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

艸 和十ノ三十
松明 和十・十三十
琉璃 和十三ノ七十
墓 和十六ノ十
大船 和十三ノ十
櫻 和十三十
醍醐 和十三ノ三十

大隅の守の任

思ひ下ゆの辛かな 古
雪踏山 三月の辛かな

大隅のかみの 和十三十
大波の笑答 平六ノ十二十

大里殿 その日の事
大日本史 假名遣 日下寛 国文学 九ノ十七
紀傳

大日本史ニ撥黄琉球ノ外国ノ件ニ敢テ異論ナシ 国文学 四ノ十七

(3)
(3)
(3)

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

ちゃう膳のうをい墓盤とも

墓盤所　むかしの侍しも　墓盤所　大臣ノ婦あ　今ごぐらいどころとも

墓盤行ノ日中行事ノコトドモ殿上ニテ墓盤行トハ　殿上ニテ侍ほこ飲食シ名ハカリニテ

墓ノ盤ヤキ時韓櫃蓋ヤ櫃ヤ角ハ　墓ノ盤ノ次ノ　長ヤ

墓所　ちゃノ五　菅一ヶ一ヶ（家）ヤニ

墓ヨ　ヨニノ九ニウ

墓傘　ちゃハノサニウ　墓ヨ之　焼ヤノサニウ

大法　舳ニウニヤ

大試

だいごのこと　大試ノ辞　だいごんげじょう　退ケ下乗　ちゃノ二

だいとく　大徳、侍ノ面称

だいとし　大徳

だいごくう　大豆ヨ

内裏羽ヤ板　焼十ニノミニウ

だらり　内裏

内裏焼セヤ　敷物下ヤオ　雅ヤ下ヤ　ヤ四下ヤニ

たいはい　体拝　ちゃニノ七　帯剣　たいけいみそ　体拝ノ的　ちゃニノ七

的のたいていくう考革　ヤ之新法記

大平的　ちゃニノ七

大平記　顕鸞　後二八七

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

太平記作者 按ずるに小島法師作 近年一部ノ異本ヲ得テ
大平記中ノ人名ニ日本文学ニノ注 応永年中小島法師作ト
太平記評判作者 今ニ六八
大平記 書ヲ読ム者ヲ称ス
大角小角 今ニモ 日ニ五
大量小量 長ニ短
大閤 大ハ又ノミヌ百ヲ云ヒテ
大閤ノ中納言 後ニ書ル事ノ如ク関白ヲ
大行天皇 日ニ六 崩御上ノ云
大中納言正宮権官 ナラン
大郎中郎小郎 次ニ云
大中納言近代無正官 ニテ
大工有学 医師ヲ云
大工左官 片輔ニ五

若太平記之評判無略 要術 治国之道也非基器者不可傳授
若雖得千金勿授之 若雖為貴命勿恐若背此旨治国 武器道
永断傳而勿忘失 勿怠講讀勿乖路 顕理讀讀專淺智高慢
者歌此恩者不信受佞奸者逆耳 細思而云

太平記秘傳之聞書令御家代々相傳一覧武器家業之要 治国政法之典
類之哉仍予勒求之志不浅傳授三ケ年全部自筆
書写終又一人之外別不可傳授 若多之重宝又何物カ
類之恩高事 者雲上 越徒之深事 金陵箱底之
腹中納者豈四海之乱不退治 船泥多 洋馬筆写

国立国会図書館　タイトル『語箋』 請求記号 831-13
ガラス使用

右之通太平記理尽物十八巻之内
ノ注釈ヲ終リ畢ヌ
寛文二年壬寅歳
仲夏吉辰

今川駿河守入道
心性在判

謹上
名和肥後刑部左衛門殿

諸集文明貳年八月下旬六日

奥書

仍而如件

大額
大額力
掌狭
たいまつ　松明、火炬　ちいさいは　燵松　ちこノ
大言　オホゴト　ハナス、デカバナシ　法螺　すこし
大元法　正月八日大元帥を祈れる修法　五壇護摩香花
大外記　太外記官　日行花オ
大輔　少輔　ちてノ
大夫　五位ほとの人　ちこノ
木末　梢　ちてノ

大夫　職ノ長官
大夫黒　義経馬ノ
大福徳　義経馬ノ
大曲　ダイブノ
春山府君　ちすちノ
ダイカラ　對策ノ
題策
大郷食　ちてノ
大臣大饗　江次ノ
三台大饗　江次ノ
たいめ　對面
ダイメン　對面
たいし　舳　對面所　ちすちノ
舳場　ちへノ
舳場　蔀　ちへノ

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13
ガラス使用

退紅　淺赤ノ色ニシテ桃色ヨリ濃ク布ノ染色ニ
　　用ユ
太數　今ノ三　本邦ノ今ノ九才
大數樹姓ヨリ出ツ才ニシテ
大口魚　形魚ニ
　大黒魚ニ似テ
　大黒ノ代ヲ持
　大黒魚ニ似テ
大極殿　百官ノ
大講堂ノ座　昔ノ九ツ目
大紙屋紙　紙ノ名
大小ノ神紙祖　紙ノ名ニシテ
大紋　紙ノ名ニテ奉書法ニ似タリ

大文字火
　弘法筆ノ記ス所ノ五字ヲ一字ノ
　東山ノ大文字ヲ云フ
　　地蔵盆ノ
　　廿四日
　　廿七八九
　　廿四日
　　廿七八九
　　廿四日
　　廿七八九

大福長者ノ事　後下ハ二出

大休禅師　時ノ人ノ号

大名　ヨミナ

大明神　画ニハ人ニ

墨画　姓ノ事

大明　ヨミ仲　姓ニテ云フ

墨色　姓ヒトノミニテ

タイジキ　後太子ヨリ院号　作物ノ抄

一タイシキトハタイシノヤウニシテ イタシ
ソモヒケン
伊勢物語ノ十四、いづくのそでよそなりけん
しるあるじを云古語ニ下ヤ我ノ宮ヒテ
こうりと何時ノ物ヲヒケウ

大師講　廿九ノ十二月

タイシ　大祀　名所名
タイシ　太子
タイジ　胎児　後ニ出
ダイジ　大事
ダイジ　大字　公式令云有敕書為大字
タイシヨウノ勢食　大膳　〔漢書　趙広漢伝〕中宮史曲
一一〔注〕宮人自相与為夫妻名二一一妻加妬忌也又〔杜甫詩〕一一不
能餐〔陸機詩〕従人与飲一一毎三時」佩文引談苑三上七
〔宮名〕三九どれあむ世ま乃風俗田虎
自ずとのまぬ〔ム詩経〕席と宮野食、応劭註云宮人
寿ちう八〔晩〕所〔十二月〕
ダイジン　大臣
タイジン千ヤリヂン大臣着陣　西宮記
大臣ノオトヽヒテ系
大臣大連　日ヒニ
大臣家　名ノ三ニ　男ヒ妻ヒ家

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13
ガラス使用

大臣家大饗　江次第ニ出ス

大臣召　西宮記ニ

大臣大将給随身ノ看ズ　巻十ニ出ス

大神宮平野ニ奉ル

太子傳　淺九九

太子傳曆　納ニ九

太子傳拾遺平氏　嗚一九ニ

大赦

兵庫寮記ニ見ユ

兵庫寮ニ申童ノ事ヲ用ユル後座ニ用ユル

ノ事ヲ記ス

大赦　中社小社　長一ニ五

大将

鳥帽子　赤。長一ニ一　巻九ノ三八

カラカサ　ヲ　蝙蝠下ス

烏帽子名甫　信ス

タヽラヲヲシ　大床子　品ニノ八五オ

日中行事　主上大床子（ヒノゴサウシ）ニ御ス

のゝちうちうして　ものをまいらするてくゐ

コノ文ニテ大床ヲハ主上ノ御座ナルヿシ

敷物ヲヽケルヿヨリ　古今ニモ　亜相孔ノ条ニ出ヅ

ナヘ　縁ナキモノヽヤ

古今ニ　亜相孔ノ木工ノ式　高四尺五寸　廣二尺四寸　長二尺ニ寸

大膳舎　竹冠　長三ハニ

ハ一一一一　標ノ竹ヲ　額ノ字ヲ　彫ル

一一一一　標ノ竹ヲ　額ノ字ヲ　彫ル

洗ヒ米ヲ　ヲケノ三ハ

太政官　假廳　假ニ

大膳用鉄鍋　ヨシミ

大膳ヲヽヲヽシテ　独ト云ヒ　ヨヽヲヽシテ　主ノ

大膳ヲヽヲヽシ

新撰
一天剣　刀剣ノ如ク山林ニ当テ斫梱ス者
大樹　ダイジュ　オホキナル木
大吃　ダイキツ　大ニ吃ス
大事ノ思ヒ立ノ程従ヒ丸
大敵　大事ヲ思ヒ立ノ後ハ敵国降伏ノ業ヲ為ス家臣ノ名ヲ大敵トモ云ヒ直敵ト義ヲ同ジ
大小刀　タチナシノ丸
大小刀ノ手ニ入ル　優ニハ
内儀　ヨメノ心ハ
大守　ダイシュ　大名ノ事
ダイヒサ　大恩者　親ノ事
大門
大切
大小ノ事

大政三遷史　日本史ヲ二ノ三ニ
大神宮諸事記　六巻三冊　神書ノ部
上巻ハ垂仁天皇ヨリ長元八年ニテノコシ
下巻ハ長暦元年ヨリ近久元年ニ至ル
大夫黒　義名ニ云　平家ヲ亡ス副信戦後ノ條此馬ト申ス判官玉信ニ
サセシ時是ヲモ由任ニナシテ大夫黒トヨビレシモノ
シヲ此馬ニテノ為サレケル副信ノ名ニ依テ一谷ノ後鵯越
タイブ　大ニ
大酒ノ名　ヲヒテセヨヲハニヲ
大名ケントシ　姫ヲノサニヲ　ヲノサヲ　サムラヒ
大食家黒姫　ヨクヒニヲ
代筆　姫ニノミ
大尽ト鼻　姫チニノミ
我持姫　ヨノミニハ

国立国会図書館　タイトル『語箋』 請求記号 831-13

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『語箋』 請求記号 831-13
ガラス使用

こふる 四加下二段
こぶる 四ら四段
こぶる 四ら変
こはるゝ 四ら下二段
こはるゝ 四ら下二段
こばくらくこのらりるれ
こば 四ば四段
ものこふる
凡そ離せ

俵屋宗達に花もこぶる

たはる 戯狂
たばる
たばる
たはぶる
たばる
たはかりごと
たむくる 文二段ハ後サ

村雲 牛も
羽をのべて招く屋もよ

国立国会図書館　タイトル『語箋』 請求記号 831-13
ガラス使用

たゝれ
たゝれを野 蕩よ
たゝれ
たゝれる
たゝれこ駒
たゝれひと人
たゝう 倭
倭ノ小ウサンダウ 城十三ノ四十オ
たゝうこ よいハ ヒゝニノて 妹十五ノ三オ 十四ノ十
たゝうめき 目貫 今十九ノ三 佐七
たゝも
たゝもん 蔵たゝん
たゝや 平凡南都本 家伝古写 万葉 道 舞 タゝや中に着

たゝいし（一）
たゝく 今カゝフゝ云
たゝき
たゝれこゝ ザコトナラズ
たゝれこゝろ 戯敵 統古伝 たゝれこゝろさえこめてそ
たゝれぎも 蔵三
たゝれごゝろ 戯
たゝれこゝろ
たゝれごゝろ
たゝれあそび
たゝれひと
たゝし 今三二ノ又三四ノ又三七ノ又三九ノ 中ゝ十ノ又九二ノ又
おゝとゝぎす 妹ゝ五十オ
たゝこばし 万七ノ一妹ゝ八ノ五十オ 舶五二 万三九ノ十七
たゝこと

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13
ガラス使用

谷川士清伝　百家説林五ノ二

谷川士清伝

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13
ガラス使用

ガラス使用
国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

タト

こそふる 四 はやて吹 四 中 三丁
こどろ 四 らゝ吹
こどらゝて 四 らゝてこそ
ことび 四 はゝ吹たくりふの条

鷹鳥 舟ハノ十五丁

タトホし

タトヘ

タトヘバ

タトリ

タドリ

タドル 飛ぶ

三翅。ヒラヌ者ンクキニサグリ作心ベ。ウロビヤカウ
ウロンビヤカウカゲリ、 柄ある土器訳ス タドルハ千百三テ 物ヲ探ノ〜スルヤウノ事ヨリ

金椀 ものゝお
いせ集 昭の絵

国立国会図書館　タイトル『語箋』 請求記号 831-13
ガラス使用

ガラス使用
国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

橋 和七ノ三
鉋 和七ノ七
牛扁 和ホノ七
館 和十ノ十三
膊 和十ノ十七
髭 和十ノ七
腰痛 和十ノ八
屠苧 和十一ノ三
大刀 和十三ノ七
欄 和十三ノ八
釧 和十三ノ九
橋 和十三ノ十九

たちもの部
太刀つくり
刀つくり
神代もじ

[illegible]
[illegible]
[illegible]

太刀 小而細ク物セル太刀ノ事 佐モ関和泉守備前住長船長重ノ作ニ
造リ出シタル十五 振モノミニテ
太刀ハ武官ニアラサル人ハ帯セサレド 文官ニテモ
帯スル者アリ 寛平ノ詔ニ 武官ニ非ス 帯剣ヲ聴サス
二年二月十五日 任官ノ者ハ帯剣ヲ聴ス 仁寿ノ詔ニ
大将ノ代ノ像ニ帯剣セシムヘキ事 延喜ノ詔ニ 近衛
将監ハ大宰帥ノ大弐ノ如シ 弘仁ノ式ニ 近衛府ニ
来ル云大宰府ニ関ノ者ヲ人ニ 乃チ兵杖ヲ
試限ニ知合ヲ仗ヲ 時ニ 文官ニテモ 武官ニ
ヲ見ル云大宰帥ノ文官ナレド 兵仗ヲ
ノ時ノ後モ帯ヲ剣ヲ 太刀ハ 衛府ノ
モマヽノ事ナリ 文官ノ佩ク
太刀名所 舶二ヲ
太刀鞘波形 ケヤキ
太刀村護 菱ニ六
太刀弓巻 摩皮 舶ニ

太刀空目男大
太刀こうかえ名作 かえこ
太刀ノ帝服綺れ ちえこと
太刀ノ重ね 雅芸み
剣色々事 概評ゆえこと
太刀多こ的之武作ノそう 今川大将宗服ゆる
公うまれる剣そう 餅中ね
剣之ノ手 刀銘録芸ゆう 柳芸服ろえ
剣之緒 華防 通手結え先相撲ゆ
太刀懸板 鐘ノたノ 射向ノ父ニ剣ニノル草スリ
太刀掛ノ詳 ちえこと 射向ノ草ろノ元キノ糸ノ結り 陽芸えへこう
剣足結ゆ 後世ゆるえ五メかへ
太刀うすげそくそえこと
太刀ハキノ役 ちゆノ土えこ
太刀馬ノ糸正 ちゆノ土

タイナえ人クレノ二ヨヒ 雅芸 指古紀三年寄
たそのそくそく 雅芸 ろえ
太刀ノ重太刀ノ重物 太刀ノ白太刀黒太刀得
時ノそう ちえこと一
太刀掛ノ方 ちえこと芸方
太刀ニ服ノ差ノそくそく ちえこと一ノ芸方
後白河帝御筆ノ名物 御物古十種ノ剣ナ一
後白河帝ノ太刀同 元年 一八二
帝家ノ太刀同
代行ノ剣 新芸太刀同 湯漬帝ノ他云
和漢ノ珍重ノ剣 本国太刀同二
東丸太刀同 平門出ノ家作ノ太刀 一
行基ノ太刀ノ名物 集芸 物初太刀同
西都ノ名物 一ノ十五
或ノ剣太刀同 一ノ八
一ノ千 金ノ名物三ノ芸ニ
二ノ十 金ノ名物三ノ芸ニ
二ノ十 金ノ名物三ノ芸ニ
二ノ十

何処ゟ来る哉 小鳥丸太刀図 一ノ七
浮雲長船太刀図 一ノ八
那波氏所ゟ出ル太刀図 全ク同上ノ差異ニ付 二ノ九
何某ゟ出ル太刀図 一ノ一
小狐丸ト称スル太刀図 一ノ二
貳ツ銘太刀図ニ又六 一ノ五
古模本 菊図ヲ花ト誤 一ノ十三
何物ヲ云ヒ誤ル哉 太刀図 二ノ廿
何物ヲ云ヒ誤ル哉 太刀図 全ク同上ノ差異ニ付 一ノ十八
何某ゟ出ル太刀図 一ノ十
お狩ノ場ヲ誤ル哉 太刀図 一ノ廿一
何物ヲ云ヒ誤ル哉 太刀図 一ノ廿九
南紀本ニ菊ヲ花ト誤ル哉 太刀図 同上 二ノ十九
何物ヲ云ヒ誤ル哉 太刀図 一ノ廿八
出ヲ山ト誤ル哉 刺図 二ノ一
お狩ノ場ヲ誤ル哉 太刀図 二ノ三
何物ヲ云ヒ誤ル哉 太刀図 二ノ三
何某ゟ出ル太刀図 二ノ三
たちのさまくいつわりあるを草し まろんのたちを 附 第二段ろ十二ノ十
餝剣
木地塀細釦
薄倩塀細釦
梅塀細釦
藤作釦
野釦 倭文形釦
塀細野釦
藤作野釦
沃度地野釦

国立国会図書館　タイトル『語箋』 請求記号 831-13
ガラス使用

糸巻 和名勢波久
黒漆塗 六位已下
助信等用 舳ハミ
タチノカ
欄 和名ミノハ

たちはき 楊
タチノカハキ 和名太知波岐
楊帳 和名ミノチヤウ
春興上ノ巻

虞書 西村真琴 奥書ニ享保己酉ノ年ト
ヨリ 遠ろなちノ也ニ改ム
拘氏ヲ宅ニ招キ義氏ニ弓功課ノ事ヲ
問ム 上二ノ六

楯 和名太天
楯ノ用ニ供スル大ナル
タチバ 説文中山

ミナシノキ 小ミカン
橘 和名太知波奈
立シ馬ニ云 タチバナ
タチハヅシ 紫ニノサオ
タチハベ 小一位ヲ
今コレカラシ (和)ニノサミ 信
橘ノキ ヲカラノ云
立屋 春新門 手傳サニノ大
義経土佐五ヲモ
タチト
異

国立国会図書館　タイトル『語箋』 請求記号 831-13
ガラス使用

タチ上ル

タチトヾリ

タチヌヽキ

タチウラフ

タチカヘリ

タチカハウケ 駒裏サヘ厚上ノ加四 立上ル

タチカレ

タチカウ 田組東種 汰半

タチカうし

タチカキ

タチカミ 髪毛 和二ノ七

タチツクリ 立造ノ帽 駒裏サヘう 厚上サヘ四 四月 五ノ七ノ六

タチヌヾク

タチツケ 紫ヌノサヘう

タチナガう

タチナム

タチノボル

タチノク

タチクキ

タチヤリ 立筋 武蔵紙ノ紙ニテ二ケ

タチニチ

タチヘリ 立鞠 立ト鞠ノツリ方 紙駒

タチ二チ月 立待月

タチ二チ敷 半扁 和サノ八

但馬紙 ちさ白ナ

タチヤカし 旭明 駒裏サヘ厚上加四 号

タチニラ

タチフる 納鞠 和十三ノ九

タチフウリ　破風　桁七ウ六

タチコム

タチエ

タチアカ

タチアカ

タチアカシ　婦裝ノ裙上ノ三ノ帯也　品二ノ帯也

タチアサ

タチキリ　ヒナニノヒハクワノカモヒワノ図アリ

タチキリ　朝廷家生ノ次第ノ位階アルヲ

タチギヘ　ヒハナニノ五ヲ五ハ図アリ

タチキ、ヒカモカイタスケ氏ヲハ公ワノ名アリ

ノアルカナシヲナリ　公ワノ名アリ

タチノフサシタチキ、ヒカモヒタスケ氏ヲハ浦シフサヨハ

タチキ、ノフサ　オモカイタスケノフサ氏ヲヘシ　古キヲハカモカイノ結ヒアリノフサヨリ分カリ

タチヒ　多治比　姓氏ヲ　蔡ヒヲ丹墀　丹治比

タチヒ

タチモトヨン

タチスノム

立山房、　ヒナニノ冊ハ

立ノリ　本則集　立ノリ思ヒ出ヒ　ソノ

ロ賀本

結イ無

ヲチノリ思ヒ指ヲソノ

国立国会図書館　タイトル『語箋』 請求記号 831-13
ガラス使用

タリ
執鳥 ナリ ハ
橋ナタリ ト ナリ ノ

タリ
タリ
タリ
タリ
タリクヒラ 統 ヲ 也ノ 也一 回タリ 位ヲ

タリキ

(タ)

郷キ 和十八ノ七丁

狸汁 看ばいら

煽け 京詞草ノ注ニ(タヌキ)ヲ善ク水眠ト云ヒ(タヌキ)ニ作ル

タヌし

タヌし

(タ)

湯ヲ焼ケバ

田沼ばり 焼ケ五三ヲ

国立国会図書館　タイトル『語箋』 請求記号 831-13

ガラス使用

タル

タル　猫ノ図　漫ニ　極　文八ノ九一　五三ノ八九オ　姫立ノ中ニ

タル　樽　人形ノ装十二ノ三ウ
タルタイ極代　品ニノ五オ

タル

タルキ

タルし

タルヒ

タルヒス

タリ

タリリ

タリん

タリハト

タリヤメ(ニ)

タリヤメ　　敢仕ハシミ　和名抄(二十三)手弱女人太手夜米

タヲメウ

(タヲ)

こちやぐ　四四四　圓總

メヲヤメ　手弱女　和名抄二十三丁

四長そ　ふふふ　ふふふ　ふふふ

タワ山ノ峽ニノナオ

タワ髪ノ峽ニノナオ

タワニ

タワニ

タワム

タワヤゴナ　古事記中巻倭建命歌ニ多和伎賀比那　手弱腕　訓仮ノ三

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13　　ガラス使用

語簏初ノ一　詩言糸　平寛葉

佐久良東雄　平田篤胤門人　著述四十三冊　文化三年ニ成ル　三冊皆同後ニ並ス

此ノ国新聞明治廿年四月廿六日ヨリ詩ニ出ス　文化九年甲刻　三冊並ス

サヲ　大さ　三ツ折　廿六丁

（散木集ニ云ル処ノ歌ハ　又ノ日高ノ名ノ歌ハ　ソレヲ引ルハ　ソノ歌ノ詞ヲ為セリト分ケ出ス

国立国会図書館　タイトル『語箋』 請求記号 831-13
ガラス使用

鷹飼犬事幷女 此六
一飼無礼 此九
一飼詞 ろ十五ノ十二
一飼犬飼殺事 後ニハ 追次ニノ十五
一タテキ ろ十五ノ九
一屋者 ろ十五ノ十 図アリ
一シツラフ ろ十五ノ七
一ノ男女 ろ十五ノ八
一なり 此ろ十五ノ三ニ ろ十五ノ十二
一ノ行校 ろ十五ノ九
一ノ請取渡節用意 ろ十五ノ十
一ノ山縁 ろ十五ノ十二

一シ右手ニ居 ろ十五ノ十三
一シ左手ニ居 ろ十五ノ十四
一ノ目 ろ十三
一之式体之事 今川大双帋 野ろ十二ノ上十
一ノ鉗袋鳥サシ様 文二ろ十
一鉗袋 ろ十五ノ九
一ノミヨリ ろ十五ノ十五
一ノヤキ緒 此二九 ろ十五ノ七
一指ニ行ある内 我船ニ評注上ノ九
一野ニ行右山ニ犬ハ打ノ下馬仕 右ノ
ヤうニ 用捨ニ船ノ為ニ後ノ為ニ直うヌ心
得能ク文歌 歴二表ニノ十五ノ

タカイ 仕事（死ぬまで人こと） 与十六ノ廿七

高橋国南 時人ろ人一首

高橋種次 義烈ろ人一首

タカがり 与ろ二ノ三 与ろ四ノ廿二 長度 当二ノ九ノ誤訳名義修

高鉢 焼五ノ廿六ウ廿八ウ 手量 手度 膚寸 ものこし

竹鼠 ろろ一ウ 当一ろ五ウ

高燈檠 当二ノろ三五ウ

高十穂之峯ノ稲 上二三

高宝 ろ七ノ八 船装 上二郎 上巻 （食物ろ盛ル器）

高杯灯火 長三 日百八 枕十七図ろ 高杯 足ノ付ク高ク大ナル杯、 神ノ大嘗ノ時ニ用ヰル

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

タカイビキ　コエ高キイビキ
タカバ　竹葉　タケノハ
タガハ　田川　セノ岡ノ
タカダ　高機　イクノカラ　ヨコイト
タカバシ　ハシを高クシてもつと
タカベ　鵜　鵜ノ形ニ似テヤヤリ背ニ沢アリ
タガヘン　磨鉋ノ名ニ非ス
タガヘし　物脇　コブシテチアフタバゴ、うごオン　ヤセノにすま　相撲
タガヘス　耕、田ヲ打カヘス
タカドノ　楼、二階造リの家又ニカイ
タカゲし　古事記ウジタゴレトロギテ　今世ノ話ニスベテ鳥出ナトノ物ニ多ク集ルウ
タカガヒ　刻ム也モトハ田ヲ返シ此ヲトニ移ス也ト通ウ例多シ　訓ゲナリ恐オソリ敬
高倉ノ飼　高ク作リタル倉ノ名
タカぐち　別離、高ク仰ク口
高檀紙　檀紙ノ名ニ非ス
タカタン　竹ノ管ヤラニ造ル玉
タガソデ　振神　謡曲ノ名ナリモオ　白化カし　紐ヲ付ノ二ツ連ヨ今袂落シ
トモノ、如クシテ持シ色ヨリモモヒロコアハレト思ユレメ神ニシ宿ノ
物モトモ云ヘリ其ノ歌ヨリ名ノ名義ヲヌ　図ヨリ　英三ノ二二オ

タカツトリ　高モ　ろうそくとぶち
タカツカミ　ろうそくとぶち
タカツクエ　高机　古安ヲ三ツ江沙ノ雲拝ヲ
タカテ　高数、ふキ表
タカヨ　飾、あ、義文
タカよ　鑓、鐵ヲキル具
タカナ　辛苦、茲、タクヘム

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13
ガラス使用

たくみ　俗語ヲ

澤蔵軒曰、京ニ高、貞享ノ比、小川庵ト紅毛ヲ、みせ、我モ法眼ノ子孫ナレ、其家ニカヽセラレン、ト、正月、祇ノ下ニモノヽ、ヲ、ヨトヨリケニモ古キヲトヽ思ハレス、大ハヽ始リテ後ノコトニソアラン、カテ氏ヲ称ノ後ノ祇ノ下ニ於テ、ヲ、モノ、ロサトセン、ト、俵ヲ物ヨ、澤古日録、ヲ表ヲ、そう、ヲ、ヲ、ヲ

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

宝生訓上二十六

宝尽し 見三ノ二七

タカラ物 宝ノ字

タカラドノ宝殿

タカラカ(こ)ウ(う)ブリ 高、

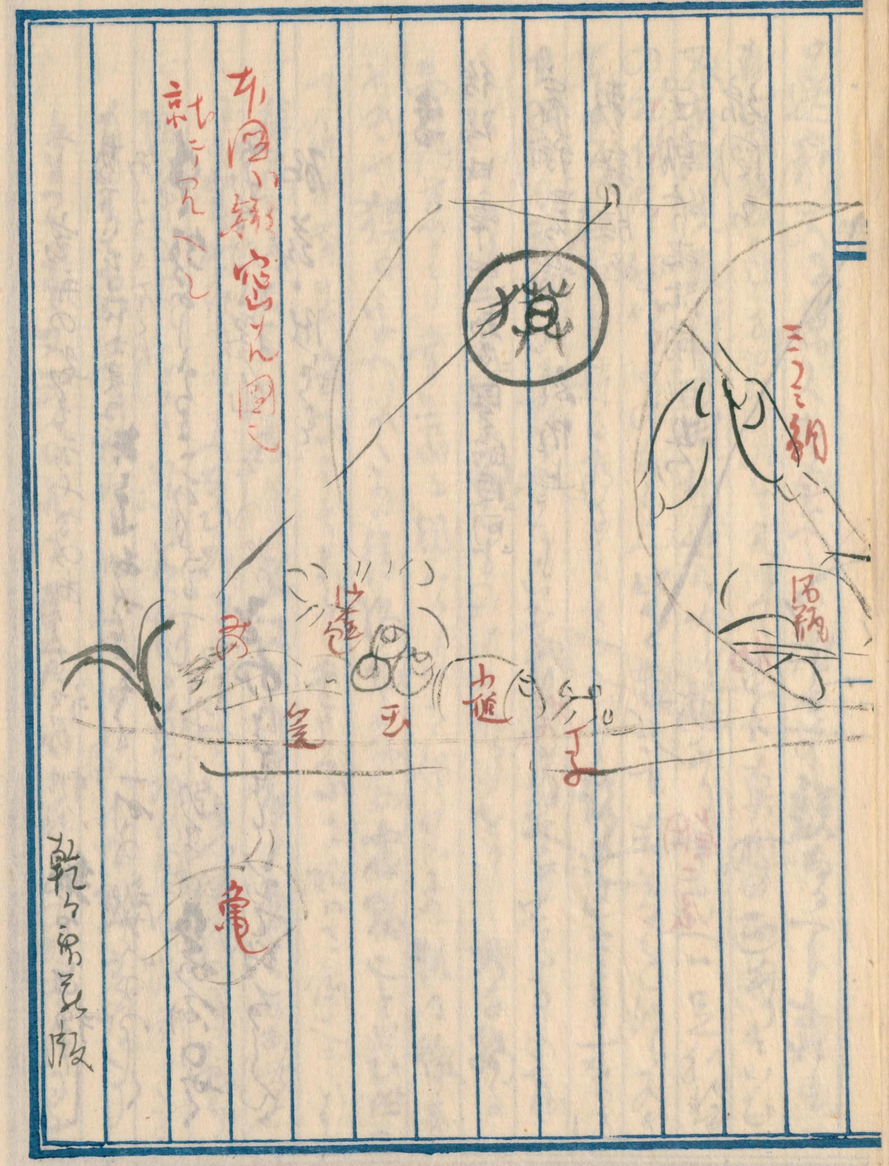
タカラノクラ 宝之王、タカラブネ財宝ヲ入

タカラノクラ井 宝蔵 タカミクラ井

タカラノキミ 宝見ヌキ宝ノ如ク思ヒカシツク君

タカラノヤド 富ム人ノ家

タカラヤシ 娘十三ノ三ニウ



国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

ヲモカヘツキ 高跣

ヲカセ 高底、ヲカセ(川ナトノ)ほりて舟ノユキカヨヒ所

ヲカセ 船。ヲカセブネ

イカセブネ 船。川舟名、サクラアケほす舟 雑五ノセオ

ヲカスガヒ 竹簀、竹ミテ作りたるスガキ

ヲカスナゴ 主殿、高ク建りたるミヤゴ

ヲカスキ 於ニ樽物ヲ載ル台、高サ三寸五分。位リセヌ

ヲカナ 箏 たうんそう

ヲカオカミ 高麗狛、高キ処ノリうじ

ヲカヤカ(ニ)刻ラン形ニ たうらうし

ヲカゲ 蓋、竹ニテ作リ名 五(ママ)のうちゝみそもの

ヲガフ 自四 違、差、ヲガフ、ヒカヌヤうこん、コトたせこ君、アヒカナタうこん、

多カフエニ　遠、差、たぶりもいそもうも、あやする、
高足多姓にノハリ
多アし　高足、茅アしそてるおてゝ五一仰てる事　婚のしかた
高砂ノ　北二ノ十
高砂尉ト姥　上二八一
高天原、洗ニ三
高眉　五一ノ十六
高盤　四二五　五七ノナ　姥立ノカニいう
高机　古活字　三り
江次ノ四ろ軒条
高仰慕　四一ノ八ノ又廿七オ　大鏡ハ
高山草　五ノ十二
高志ノ　五十六ノ七
多賀谷豊後守　高忠事、漫ニ三
高倭太刀　今九ニ

高欄ニ洗ヒ
高松のせんさう雅房五ニ十ありノ羽五七又廿二
高倉天皇御厨　最末四冬六ノ十一
高倉春王権現　巻五四冬六ノ十一
多ゐしつ　五十ノ也　春草ノ下　竹矢壹
第刀　五ル十一　五ハリオのたりるるる船
等の御　たりれるのる船五下ノ
等氏等義家像　ら前栽を教え
多ゐニナハニ　虚ロるナハリオも
隆岡　兼倍元年ノ時評
多ゐのうち後ぎり書ニ
隆信　兼綱　叢十二ノ二
元久元年ニりオの御方
高銅佐々木　盛嘉オれノ十五　馬ニオ次ノ腰中ニ
カッキテ　高カハ永明ニ出ケ兒　那ノ
引着ニ太腹ニ二刀指

通シ傍大浦へ新入ヲ荷船ニ乗移
たのし　衣くらん
たらすり竹竿　タケノサヲ
たらさゞ　高竹ノ末ニ古ク　ヲ物ノ尾ヲ
指広ニ右ときる後ノ
高キ火　高家、ヤリあい、
たらのく　高杵、そらをさくとゞ
たゝみ　刻烟、たちのつゞ、つゞのたゝみノト
たらこゝろ　高帳歴　こゝろのヨリそゝろ
たらこくらね　こゝろ伝、宇根、こゝろの名所伝
たらしゐ　高、のへノカヨつゞヒテアリ　うへのこと
たらす　うゐ　こゝろの例ようこくヨリ
ものをゐゐ
たらしる　高知、たらくしろーめす

たらしゐ　高知、たらくしろーめす
たらし　竹筒名、サヨ作りるやうと
たりい刻烟、たらこゝろ
たらる動立、おゝより
高みゝ、けいし　枕ノ古ウ
高モがり　竹ノミセら
高扇　紫ノ九九オ　九ノサウサう九尺、一
夕か迎ヒ　姓ヤ五三オ
高柏子実　姓ヤ三オ
指迎ヒ　姓ヤ三ノさう

国立国会図書館　タイトル『語箋』 請求記号 831-13

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『語箋』 請求記号 831-13

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

永住ところのものたようまそろハ人ハ数えまそろん
又 まことまあきろ一のさよりもろう人のことつもち
又 おっくろ次(ハ)こすりて永住をそろ人あらばなーとこよ
貴之 (招)我こうりかうってそのろものをろ(記)
ろ福 隠(陰)さくるほいまうをハおそれの役ろまろ
ろ貴之 (招)おろこと(ハ)仏のれやつ什(仕)てろんえめつらし
乃至二まろこ 古之二ろろろろろ役ろまあとぬろの
貴之 (招)おろこうのえめおつるあをいんのこより
貴之 万代 院古今無心
そやる次のたりにもろ

(名3)

タヨワシ 万三五ヒ 手弱き女ニ有者 訳仕ル(ハ)ノミ

国立国会図書館　タイトル『語箋』 請求記号 831-13
ガラス使用

たゝく 四加四段
巻き 四左四段
たぐき 四左四段 図君
たゝし タキ ハ左四段ノ未
た、め 四素下二語 図十五
たゞよ 四段
たゝう 四波下二段
たゝむ 四まの段
こゝろ 四ら段
こゞる 四ら下二段 図上
図一 図初 独ゝ
脘 タキ 和三七
瞬 タヽク 和三九
揣 タヽリタ 和十ノ十四
徑路 タヽ 和十ノ七十
終焉 タヽリ 和南十三
畢竟 タヽリ 和四ノ九十
未筭 タヽリタ 和十五ノ四

[illegible]
[illegible]
[illegible]

タクヒ 和十五ノ八丁
蹄鞘 ひづめさや
ものくり はものくるるの卵
ころのぶ 矢倉 かてのすけ
たてみなす 物をる化ノユヲ 叙ト
畳 かぶの下にしく 敷物 ひろもの 詩ノ註ニ見ユ
タクハシ 厨 百草 もゝくさ 玉ノ巻

たゞ副詞 唯、直、只の字、ほかにもかずおほし
ダキニ、タダチニ、スグニ、イソゞニ、もろ〳〵
たゞ君
ひとえ、ふたえなる衣、よはごあみ
ぶ、うちのおもてにあらはるゝ、うら
たび
たゞ 姉十三ノ十九ウ
ちゝはゝ 今あるをタヽキ合ゝものあるう
ジダイつ 駄大鼓 ゆきゝ物を担ふ鞍を置く馬
たゞ 鞍鐙、ものゝふのたしなみ
あぶみ
あぶみ 鉄染 馬ノ三ノ三ウ 綿柱 全 五十二
あぶみ 業

たうりう
たくる
たくる
たぐひ　匹敵、けだものうたぐひ、今云ふ
たうあう　敵、闘、たゝかふ、たゝかふ
たゝかひ　戦、闘、たゝかふ
たゞよふ　漂、くさものたゞよふ、
　たゞよふ、舟などうかぶ、たゞよふ
　たゞよふ　明るイト
たゝかふ
たゝら　踏鞴、ふいごを
たゝらの　暖
たゝらめのまる
たゝぬ　をゝぬをうつすめ

たゝみ　畳、おさまる、ふさもいえど、ことば
たゝもの　つゝみ来月、ら月
たゞもとの　直対、たゞしくむかふ
たゝる　初生　臀　板底之高処　碓
　嚊　天皇　臀　記曰　土ノサミいとまる天武紀のこと
　りれ　ふいごのうちへタゝつうの後ろや
　説文　戦也

たゞこと　直人、たゞひとつの
たゞうがき　墨紙をところ〴〵焼てのはなうゝ折摂紙々ノ
ふさく　高、つげていう、ととゝく、つゞくことを
たゝく　手球、くゝの餅うつるを
たけ　雑、　童蒙頌韻　竹　（リ）　雑也　（ビト）　鮨　（ヒキ）　鹿米　（メカノ）
たゝ西遷、ふるいおとす、水のうてこぼるゝ
　もりてうつるよう、水のうへにうかぶ、うかぶ

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13
ガラス使用

ウテ 和名抄三ノ七丁 和訓栞四ノ九丁 玉篇 新紀
カヒナ 傳共ハ仁徳 雄集 五下ノ三十七丁 和訓栞六ノ十二丁 新紀
タバサキ傳十一ノ廿三丁 雄集 七ノ五十丁 和訓栞六ノ十六丁 玉篇
タブサ 雄集 七ノ八十丁 和訓栞六ノ十六丁 玉篇
タコムラ 傳四ノ五丁
タクフラ紀
タフシ 冠辞考ノ二ノ三
ヒナ 和名抄三ノ 和訓栞廿ノ九丁
タナヒゲ 祝詞
タナスヱ 傳五ノ廿三丁 廿三丁ウ
タナバタ 傳三ノ十七丁

通證 廿ノ十カ二行 敬受 集 於神紀 タタくこと 麻古語也 万葉 原書
和名抄 宍 世俗伊敷 此等訓 新撰字鏡 茅乃良久利生

ウテ 和名抄三ノ七丁 和訓栞四ノ九丁 玉篇 新紀
カヒナ 傳共ハ仁徳 雄集 五下ノ三十七丁 和訓栞六ノ十二丁 新紀
タバサキ傳十一ノ廿三丁 雄集 七ノ五十丁 和訓栞六ノ十六丁 玉篇
タブサ 雄集 七ノ八十丁 和訓栞六ノ十六丁 玉篇
タコムラ 傳四ノ五丁
タクフラ紀
タフシ 冠辞考ノ二ノ三
ヒナ 和名抄三ノ 和訓栞廿ノ九丁
タナヒゲ 祝詞
タナスヱ 傳五ノ廿三丁 廿三丁ウ
タナバタ 傳三ノ十七丁

通證 廿ノ十カ二行 敬受 集 於神紀 タタくこと 麻古語也 万葉 原書
和名抄 宍 世俗伊敷 此等訓 新撰字鏡 茅乃良久利生

タヽウ紙 服色圖解 [illegible]
タヽウ紙折 [illegible]
タヽノ織物 [illegible]
敷 [illegible]
弱ル用ルコト 義ヲ以
タヽウメノモ 兄ト [illegible]
タヽ物ノモノゴト [illegible]
タヽキト [illegible]
タバビヤウシ 胡琴ノ [illegible]
タバノキヽ 兵 [illegible]
タバノシリ 尻ノ [illegible]
忠度 [illegible]
ノモセニスタク生ノ [illegible]

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『語箋』 請求記号 831-13

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

立タツ 四多つ辰
斷タツ 四多つ辰
うつ四多下二段
うづめつ四未下二段
うづまつ四四下二段
うづまり四ら辰
韃タツ 和十九ノ一丁
田中螭タツ 和十九ノ七丁
女童タツキ 和北ノ北九丁
龍膺タツノクチ 鳥革タツ
簿壁タツキ 和西ノ十七丁
鐲タツ 和十五ノ六丁
鷹タツキ ヲレラニ 和十五ノ六丁

新古今 西行 古畑のそばのたつきも知らぬまに
金槐 五のう
兼輔 こつこ
夫木タツ 暮月 法性寺の入道前
[illegible]
[illegible]
[illegible]

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

たね [和訓栞] 種をよめり田根のまろろ一し

種と鳥鉄炮 玉一ツも

たねなし 男女ろ人一そ

[illegible] 気ろ人一そ
東一ノ方ろ来遅

種田 近き時人ろ人一そ

[illegible] 種をつけをとよ [illegible]

[illegible] [illegible] [illegible] [illegible]

たね柳 蛇ろ一ろ

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

(タ)

たちづく 四方屋
たちれ (冊四ハウ下二ケミ入

織女なる女、和一ニ
織せ

膳ゝ 和ニテ立ヤ

膳軽 和ニノ立ヤ

(改行)
タナノコ

蒲公草 木花ノ十八ニ

棚閣 和十八十三ノ

(タ)

(タ)つめ 油中ノ二

柳ラ一少

(タ)

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

七夕ものがたる徒然九たび三ノ十う

七夕物がたりを後十ノ七部陸續ノおりかさね（タナバタ）店儀（ヨコヽろ）日ノ夜

田中及（ヨコヽろ）ゑ〳〵ゑ傳えニノ世ゑ名ゑ有事名 国華サ二ノ三〇一

棚姫二ノ十三う

棚尾よもミニ三

一ころぶひ手拭 脩女（ヒメ）ゑ又下サル

あせ〳〵ろこひ

彦星ノ御（ヨコヽろ）

七夕月（それ）七月

たろろ（物ほ）たろろのと、ゑをてゝ〳〵ゑ井心それをいたちりけ〳〵ゑ

そうれつけて玉をいゑ〳〵ゑもゑ心又〳〵ねこをもゑ）

ろのうへよりゑをあさいゝ〳〵といふろねをとりやう

たろうけ 上ろろ

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

鱈 魚ニ作ル

太郎次郎 魚ニノミ云

太郎次郎非指ノ称ヲ用ヒ給ヒシ如ク下ノ刀タラニノミ云ヒシナリ

多賀柳 長二七 吾等ガ郷訛名ノ集

鱈 魚ニノカニテ

大郎 物ニ名ヲ負ヒシモ

鱈 食慾筆記 諸国ニテタラト唐土ノ書ニ見エタル鱈ハ俗ニ
トド用ヒ大口魚トカク人アリ朝鮮ニテ獣ノ云トカヤ甚名
シ余ハ鬚俗甚シ鱈ト書ケル方可シ 云云

国立国会図書館　タイトル『語箋』 請求記号 831-13

ガラス使用

こむる 四下二 籠 檜 又 檜籠 名 又 檜籠 四 こもる 四 こもる 四 こもる 四 籠神 和二十二

丹生檜 和二ノ十二

彈碁 和一ノ十八

不檜 タガヘ 名 和ノ十八

壇 和十ノ十

丹木 和二ノ十二 丹砂 ニヒタリ 和二ノ二 名近

彈弓 ハジキ 和二ノ七

檜 和二ノ八

綾 和四ノ十

毬 和四ノ十八

醍醐 カケ 和十六ノ十三丁

圖書 和十六ノ十五丁

多武峯

短歌ノ掛合ヲモテ長歌ノ振起ヲシ智玉吉田主計頭ヲ敵ニ取ラシメ其ヨリ一二ヲ捏出ニ左ニ二三

多武峯事業 ヨセノサニウ

他ノ芳野ノ花ニ移ル

手向草 (花ノ事ヲ以テ住吉ヲ祈ル)

手向ノ 玉 (玉ノ事ヲ以テ神ヲ祈ル)

多武ノ 紅葉 (紅葉ノ事ヲ以テ山ヲ祈ル)

短冊切 (短冊ノ事ヲ以テ「コングロ ラバーク」ヲ祈ル)

たんさく

三代實録廿七短籍。同廿五短冊 タンシ同シカリ。松葉ヨリ出ル カタモトリ 松葉子 等 みな今ことに

多武峯 事業 ヨセノサニウ

他ノ芳野ノ花ニ移ル

手向草 (花ノ事ヲ以テ住吉ヲ祈ル)

手向ノ 玉 (玉ノ事ヲ以テ神ヲ祈ル)

多武ノ 紅葉 (紅葉ノ事ヲ以テ山ヲ祈ル)

短冊切 (短冊ノ事ヲ以テ「コングロ ラバーク」ヲ祈ル)

ガラス使用

[illegible]歌ヨリソノ時ノ哥、カヲ入ルトキニ右ノ短冊ニ記シ書カセラレタルヤウニ
此歌ニ若ノ春ノコトノミトアレバ右ノ宸翰ノ短冊ニ記シ書カセラレタルヤウニ
カユレト此時イマダ哥カノ入ラセラレサルカノ中臈ノ歌ニ向ヒテ書カセラレ
集メテ供養セタリシニ是ンヒトツニ春ノ短冊ニ南朝ノ比リ
オコシリト思フハヒカ事ヘ哥カ物ヨリ外ノ此時ヨリ八年カリ後ニ正刹ノ
普賢院殿ヨリオコシテモノニ慥ニ見エタリ東京縁岡本云中院ノ説ニ短冊ニ
歌カケル若キ若キヲノ名ヲ一ツ〳〵ニ書シ今哥カルタノ如シ
初ノ事都特ニ普賢院殿御筆タリケレハ新ニ書写シケレ
ノアレハ故ニ御モテナシカタク新ニ書写シケルニヤ又ハ
ヲクルカ弁ニ出来ヲモヒヌトノ是ヲ哥カルタノ短冊ニカキ八〳〵モ一寸八分ナト定メ
書リトナリ」此コト此説ノ高士紀行ノ裏ニモ見エタリ元亀年中ノ
歟ニタンサクハモトワカリノヨシヘレハ自ラノオホエトキシ公ヨリカキテ与ヒモシ
タルモノナラン近キ頃ニ哥カモノトナリノリ修ヘイフホト善屋ニ
オコシリホメト普ク此頃リ今モ折ニ用ルコトハ専ラノコリノリ
以上俗語考

俗語考　今京都ノ人ノ物ヲ言ヒ出スニ
物ノ上ニ
ヲ加ヘ
ヲ加ヘ
ヲ加ヘ

多短貌野良川之介

総芳　松一文十一ノミニ文五　紫ノ、標ノ、端ノ、皆地ノ白ノ
端　総ノ組ミ文ニ飾ガ付ク
端手ノ頭中、紫濃ノ小人形　帯幅上端下後ニ
頭中節　五月五日
短冊君塚五　故サハ
短尺華筆文言ニ漫ニ書ク
短尺寸ノ大サ伸ビルニ下ガル
短刀中功赤功　火ニ
短冊ハ　ニノ字ノ形ニ
短緩　刻ミ下モ
淫騎　長ニ
琴功緒緩ス　数数
踏皮ニ

田邑帝 大化七年
多武峯少将物語 那々いこ
多武峯 縁起絵伝 仏像 九体 刀剣二ノ太
護摩供 仏像 不動明王 ナリ
摩尼 ナリ
摩頭羅 ナリ
摩醯首羅 九面八臂三目
檀紙 紙三ツ折ノ三ツ又三ツ重ノ名ナリ
檀那 施ス主ノ名
タニナ多聞天 用於名下ノ井 供ミノ三七ケ
井後日結 ケナリ 二ツ三ツ五ノ二 幸々ケ
井後句 みやび人一ケ
田後句 後七九
丹波焼 焼ノ名ナリ

井名所山 時人ケ一ケ
段ノ物 タニノいこ
段金 タニノナニ
段錦 ケナ五ノ五又ニノ花
だんぴら ケナリ十六 柴々ノミニケ
談義本ノ 宗ノ中ノ学ケ
短刀 身ナカ中ノ刃ノ反ナ
反物 着ケ数ノ布
たんもの ケナ五ノ五又ニノ花
端午 ケナ五ノ五ノ名
丹花子 柴ケ
丹後ちりめん 柴ケ
ぢゞつゞら 柴ノ名
團扇 柴ノ三ケ
團扇形 柴ノ三ケ

国立国会図書館　タイトル『語箋』 請求記号 831-13
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

こぶ　こぶノ者使ハ陸四位こぶ朱

[illegible]石　和一ノ五丁

[illegible]　和二ノ十三丁

道調也　和ノ廿二丁

堂名所出　和十ノ十丁

湯茶　和十二ノ十三丁

[illegible]

陶潤明[illegible]

[illegible]

[illegible]

當色 淺ゆ一 蓼ヲサ 後ヲ云ヌヲ字 作ヒヌヌ
通俗 那ヵサ云ノ五ヒ云ヲ
唐ラ程也 ナヲヌヤ
唐土風 ナヒヲ五
唐毛布 五
唐紙 紙ニヒ
唐ヒ呉 紙ヒノ云ハラ
唐布 ヒヒノ
唐薬 ヲ葉 洗ヒ云
唐大ヒヒ 紙ヒノ三ラ
唐音 我ノ
唐大猪ヲ原 紙ニノ三ラ
唐ヒノ三五
唐ヒ ヒヒノ
唐絵 曲 紙ニノ九ラ
唐猪 ヒヒノ七 紙ニノヒヲ
唐土 鞠 回 ヲ 御国 往下ヒ云
刀劍 折紙 物 要 猶ラ ヌ ヵ 土
刀劍 同ヲ 毒 系 孫之 亜陳信克著
唐 機 為 紫ノヒヲ

ヲ剣 日 的 ヲ五ヲ
綱 渠 ヲ ヨ 一ノ四ヵ 唐綱 這一九八ヵ
唐あこのめろ 孫通
唐 露 露ヒ ヒノ五 通ヲ云ノ三 墻 去要ヵ 考 漢中もラ 共 ヲ 於 通
為 風ノ云ヒ 紙ニノ云ヒ ヒヒ ヵ 世ヲ 春 漫浪話中七ラ 三才圖ヲサハノヒラ負ノ割 直 經
通ヲ 屋 紙ヒノヲラ 同し又サハハヵヲ ヒ ヒ ヒ ヒラ
通 為 ヲ 紙ヒノヲラ 唐 ヲ ヒノ七ヒ
通 為 ヒヒ 朝 如 従ヲ
通 為 ヒヒ 要 州
為 あノヲ 春
通 ヲ ヒ 如
通 志 終下ヒ五 仮 ヲ 被 沙 通 従 金
陶 仮 ヒノヲ ヒ ヒ ヲ ヒ ヲ ヒ ヲ ヒ 春
陶 説 本邦ノ一 ヒ 泉 物 仮 同 華 ヒ
檀 紙 ヒノ九五ヲ
堂上 ヒノ三六日 ヲ ヒ

国立国会図書館　タイトル『語箋』 請求記号 831-13
ガラス使用

當色 洗ひ一夢ヲサ後ヲ云ヲ字 信ヒ文ヒ
唐ヲ楫也 今ヲ云ヲ
唐土原氏 今ヲ云ヲ
唐手古 玉
唐紙 長ヒ
唐綾 吳綾ヲ云ハヲ
唐布 ヲ云ヲノ
唐茶 洗ヒ云
唐犬 ヒヌヒ 犬ノ
唐芋 ヒヲノミヲ
唐犬猫ヲ唐 ヒヲノミヲ
唐ヲ云ヲ切 ヒヲノミヲ
唐ヲ云ヲ九ウ
唐綿 也 ヒヲノミヲ
唐ヲ云ヲ切 ヒヲノミヲ
唐土 ヲ云ヲ切 御国 ヲ云ヲ
刀劍 折紙代物 ヲ云ヲ
刀劍圖 ヲ一冊 常ヲ云ヲ
唐楪 ヲ云ヲ

刀劍ノ圖 ヲ云ヲ

綿 唐ヲ云ヲ
唐綿 ヲ云ヲ
唐ヲ云ヲ

唐 唐ヲ云ヲ
唐風 唐ヲ云ヲ
唐 唐ヲ云ヲ
唐ヲ云ヲ
唐 唐ヲ云ヲ
唐ヲ云ヲ
唐 唐ヲ云ヲ

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『語箋』 請求記号 831-13

ガラス使用

田の傍の蛙かり集りて
田の草を取る手元を六の四三カ

タ

タヲ
ダオヒ 久サシノ高キ
夏ヤセカリシ 古キヤシ

国立国会図書館　タイトル『語箋』 請求記号 831-13
ガラス使用

こく 四加留 団 二九十曲九 こぐ
こぐ 四加留 四加留下二段
こくる 四加留下二段
こくふ 四加留下 団 十九 こくはひ 山帚 九三丁
こぐ 四加留下二段
こぐる 四加留下二段 三段曲
こくは 四加留下二段
こくむ 四加留下二段
こぐる 四加留下二段

甲斐こそこそこかくしてたくるふとあるくる人

タク
途絶 二ノ十三丁
タクシドリ 本十八ノ十六丁
巧婦
見下二段 甘たく久一カ こくる比
こくる
猛虎 耕跑 焼火の即 ヨあの即の時跑也
啄木 比ニノ秘曲心 著古集 巻十五 春部 ニ
啄木ノ数へこタ〜ニアリ 定頼ノ 枝流れて モ見ユ

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13
ガラス使用

啄木ノ布帯　ちナニノサミ
啄木ノ帯版　ちナニノ五
啄木曲　加琴ノ教録　附三四四上ノ四三
タノラダ　ちナ五ノ三五
タノく足　ちナニノサミ
宅向勝賀　栄契ノ陽賀ノ延　国華三号十
ちナニノサミ
多ノ足
倭隆　型亮七ノ一ら　考考隆志作
タノごり　ちナ五ノ十
碌手　ちニノオ　祖俗文
タノこら　内近来　雅苑ちハ
曙ノ下ン　品ニノ七ちら
濁琴　おそれて十ニ

淵家録タノモン　品ニノ五十オ

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13
ガラス使用

手纏（タナマキ）　名称ヲ九ノ名ヨリ
西宮邦ヨリ名

諸家出馬乗人著袖標錦旗胡簶

仁徳紀田道之手纏

手纏足纏一

玉巻蕾　ノ条ヲ四下ノ大ノ
玉巻芭蕉〃　ニ下ノ大ノ

地屋ヲ経行ス姓ノ如キ

国立国会図書館　タイトル『語箋』 請求記号 831-13
ガラス使用

山中十二月ヌナニ日より
山中十二月ヌナニ日より

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

助無官ノ
寛加ノ御即位ニ行成卿ノ中納言ニ宣命
使シタリケル年若キノ宰臈ニテ礼服ヲ
給ハリテキタリケリソノ日ノイレ物ノ
ウチニ其日ノ我作法追悔ヲメニトリテキテ
イタリ君デヨキ礼也大炊御門ノ右大臣ノ
久寿ノタメ中納言ニ宣命使シテソノ
家ヨリ申ニヤリテセラレタリシニ其行成
卿ノシル也レタルモノハミ持シ礼服ハ墨衣
ノ物ヲ申ニリテキル
ニアタラシソトハノヘテキルツモアリホロク
トヤレリシテワロケレドモクルシミナキモノ
礼服ノ袍ハリサテフルキ袍ヲハ礼服
ノヤウナリトノイフニヤ昔ノ人ハ装束
ナエ〳〵トソアリケルサレハヒトツ車ニ大臣
タチナトリニ三人モノリアヒテアリキケリ
末代ノ人ノ装束ハ一人タニモ車ニノリ
クルシ大カタハ装束ナムヘキオリコソキ物
ツキ名モワロキナリ勅会ニ人ノイタリモ
禁ハスカサリケルヤ有信卿ノ俗息ニ
先代ノ時ノ節会袍ニシカニケストカシ
タリケルハ勅会ノ袍トテフルク土名ル
人ミカスカアリケルニソオホツカナシ人ノ病
スルトフラヒニムカヒナトスルニ装束ナト
コソキハメテヒニナキコトソ又後朱雀
院ノ御時ニ其年ノ旬ニ弼ノメチナ
タリケルヲ御覧シテ当日蔵人ノ頭ナリケル
蔵人ノ頭ナリケルヲメシテ昨日公卿ノ
装束ヲ御覧セラカハ以外ニ袖ヨリ大ニ
ナリメレハカクテハ世ノツネ〳〵ナリイカヽスヘキ
右府後中野
宮殿ノモト〳〵カリテイヒアハスレ
トオホセラレテナケカセタマヘヒケレハ右府
殺オホセラレシモアレク候ナムトイレリノ由ヲ
ウケ給リテカクヨミリ申サハサスカ先

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13
ガラス使用